

防犯片づけからアプローチする 親子防犯と地域防犯

フリーアナウンサー・整理収納アドバイザー・防犯設備士／
秋田県防犯設備協会所属

柳瀬 わかな



「ドライブレコーダーの映像をみせて頂けないでしょうか」

以前、私がうけた県警からの捜査協力のお願いです。後から聞いた話では、私が息子を児童センターに迎えに行ったまさにその時、隣の無施錠の車から現金入りのバッグが盗まれ数十万円の被害が出ていたそうです。そのママにしてみれば子供を連れて戻るまで「いつも通り、ほんの数分」車を離れただけ。ですが保育園や幼稚園・学童など、子供のお迎えの数秒～数分の間の窃盗被害が全国的にも意外と多いことを「ママたち自身が自分事にしていない」地域もまだまだあって、そんな中で「地域防犯のために防犯カメラの増設を」と訴えても町内会費や税金の使い道として優先順位は上がらない。そんな課題を感じたこともきっかけの1つになり、今の活動があります。

活動、といっても私はビル管理業者でも防犯機器の販売業者でもありません。

子育て現役世代で、整理収納のプロで、被災経験のある防災士、そして報道アナウンサー出身で“ニュースを自分事にしてもらう”伝えるスキルが持ち味の、防犯設備士（8年目）です。

元々は東日本大震災や悲しい事件報道を通して「自分と家族の命は人任せでは守れない」と感じたことから始まったものですが、子育て中の親御さんが想像以上に私と同じような不安や悩みを持っていることを知り「各家庭に届くメッセージをわかりやすく発信したい」と、大変地味ですが等身大の活動を続けています。



子ども収納検定 風景



ママ向けお片付けレッスン風景

先述の事件では児童センター周辺に防犯カメラがなく（ダミー1ヶ所のみ）、同時間帯に子供を迎えに来ていた複数の保護者のドラレコ映像から犯人を特定できたそうですが、それがなければ解決できなかったかもしれない可能性を思うと、やはり地域にもっと防犯カメラが増設されてほしい！そんな思いから、家族防犯ネタの“インスタ不意打ち投稿”も続けていたりします。

例えば、

- ①子供の名前を記した傘やおもちゃを玄関先に出しっぱなしにしないこと（連れ去り防止）
- ②エクステリアの片付けを怠ると放火被害に遭いやすかったり、庭先に放置されたモノを足場にして上階から侵入されるリスクも否定できないこと
- ③軒先に止めた車を見れば（車外から見える所に個人情報が含まれた書類を放置していたり、無施錠だったり）その家の隙のレベルが丸わかりで不用心なこと等々。

防犯×整理収納＝家族を守る身近な“防犯片づけ”です。

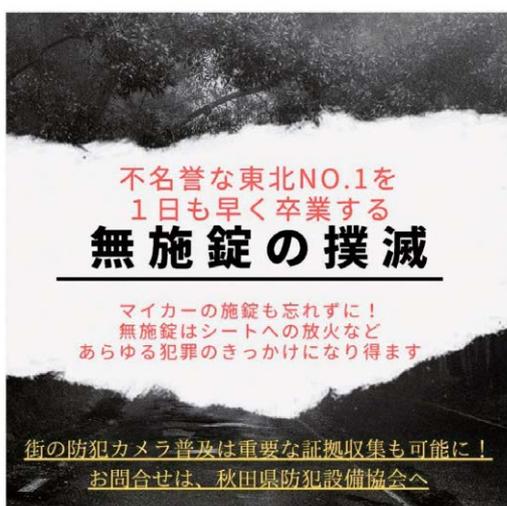
季節柄や旬なニュースから引用し、各家庭で自分事にして貰えるよう工夫して書いていますが、私のInstagramは防犯の専門アカウントにはしていません。専門アカにすると防犯意識の高い人だけが集まってしまい「ふだん意識していない人」に届かないからです。不意打ち投稿でニュートラルな親御さんにも防犯メッセージが届けば、防犯にお金をかける意味が少しずつ伝わり、世論が動き、地域全体で防犯面での“住み続けられる街づくり”を叶えていけると信じています。

どう伝えるか、は報道アナ時代から常に悩んでいます。何を発信しても自分事にして貰えない限り被害は減りませんし、防犯意識も高まらず、地域や自治体が防犯にかかる予算も増えない負のスパイラル。リアルな発信で子育て世代にアプローチし続けることで「じゃあ（防犯設備のことを）誰にきけば？」となった時にすぐ、カメラやガラス・カギなど各々のプロにパトタッチできるような架け橋になればと願って日々活動しています。

目下の夢は、秋田のご当地ヒーロー・超神ネイガーと共に親子向けの「防犯さんぽ」のミニ番組を提案・出演すること！

設立4年半ながら少数精鋭・多業種で多角的に防犯を考えられるのが強みの秋田の協会メンバーとして、まずは個々人に身近な防犯に興味を持って頂く事から地域防犯を盛り上げるお手伝いを続けていきます。

 yanase_wakana_official
秋田県 秋田市



秋田県防犯設備協会 チラシ



冷蔵庫収納リーフレット監修